

グラスウール製ダクト施工チェックリスト

建物名称			検査実施者		
検査場所					
ダクト系統			検査立会者		
検査年月日					
項目	検査内容		良	否	備考
施工図確認	施工図	採用箇所は適正か			別紙及び標準施工要領確認
ダクト製作／加工	ダクト切り込み	加工工具刃の深さは一定しているか			
		曲りはないか			
	接着剤塗布	適量の接着剤が塗布されているか			
		切り込み面にすべて塗布したか			
		アルミ面にはみ出た接着剤は拭いたか			
	ダクト組み立て	寸法に間違いはないか			
		V溝、接続部の接着剤は塗布したか			
		接続部の段差(ズレ)はないか			
		表皮材の角は直角になっているか			
	テープ貼付け	規定のテープを使用しているか			
		テープサイズは適しているか			
		貼付面に平行直角に貼っているか			
		へうで摩擦圧着しているか			
	継手類(エルボ等)	テープが浮いたり切れたり破れていないか			
		接続部に段差や隙間がないか			
		適量の接着剤が塗布されているか			
テープはへうで摩擦圧着しているか					
安全管理	安全	テープが浮いたり切れたり破れていないか			
		足場の状態は安定しているか			
		脚立最上段での作業は避けているか			
ダクト施工	ダクト接続	保護具類はきちんと付けているか			
		接着剤は適量を塗布しているか			
		アルミ面にはみ出た接着剤は拭いたか			
		テープはへうで摩擦圧着をしているか			
		角、丸の接続は正しく行っているか			
		規定のテープを使用しているか			
		テープサイズは適しているか			
		貼付面に平行垂直に貼っているか			
		テープが浮いたり切れたり破れていないか			
	ダクト吊り込み	曲がって接続されていないか			標準施工要領確認
		支持間隔は規定内になっているか			
		支持鋼材は垂直になっているか			
		支持鋼材が食い込んでいないか			
		ダクトが支持材から浮いていないか			
		補強間隔は規定内になっているか			
		座金プレートの浮きはないか(外部・内部)			
安全管理	管理	座金プレートの浮きはないか(外部・内部)			
		表皮材に破損があった場合の補修は行ったか			
	整理整頓	注意ラベルは目立つ箇所に貼付したか			
		ダクト工具、電動工具の整理整頓			
		電源は切ってあるか			
		工具の置き忘れはないか			
		作業場所の片付けはしてあるか			
		使用残材の整理整頓			
		不要材の処分はしてあるか			
加工、作業場所の清掃はしてあるか					
<検査者コメント>					

ご不明な点等ございましたら、お気軽にグラスウールダクト工業会へお問い合わせください

グラスウール製ダクトは下記の「使用可能範囲(低圧ダクト)」に適用されます。

使用可能範囲(低圧ダクト)

正圧+500 Pa 以下

負圧-500 Pa 以内

長方形ダクト 円形ダクト 共通

許容圧力(常用圧力)

許容風速 長方形ダクト 13m/s 以下 円形ダクト 15m/s 以下

許容温度

ダクト内温度 70℃以下 ダクト周辺温度 -30℃ ~ +70℃

【採用を避ける箇所】

1. 空調機械室内でのダクト
2. 排煙・浴室等の排気ダクト
3. 屋外ダクト
4. 防火区画の貫通部分及び、FD・FVD の一次側ダクト
5. 使用可能範囲以外でのダクト

VAV・CAV システム等の一次側ダクト及び、加湿器を有するダクト系、MD システムについてはご相談ください

【使用上の注意】

1. 使用可能範囲(低圧ダクト)外では、使用しないでください
2. コンクリートに直接触れないようにしてください
3. ダクトの吊り込み後は、ハシゴを掛けたり、上に乗ったりしないでください
(施工後は注意ラベルを良く見える箇所に貼付してください)
4. 試運転時には、必ずVD 等は全開状態で行ってください
5. 水濡れ厳禁! 濡れた場合は使用しないでください
6. ご不明な点はグラスウールダクト工業会へお問い合わせください
(検証のためいただいた情報は、技術支援のためにのみ利用されます
お客様の同意を得ることなく、第三者に情報を提供することはありません)
お問い合わせ番号:03-3288-6308